様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校甲府校
設置者名	学校法人大原学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	経理本科２年制学科ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾋﾞｼﾞﾈｽｺｰｽ	夜・通信	780 単位時間	160 単位時間	
	経理本科２年制学科情報技術コース	夜・通信	1530 単位時間	160 単位時間	
	経理本科２年制学科医療事務コース	夜・通信	750 単位時間	160 単位時間	
	経理本科２年制学科税理士コース	夜・通信	240 単位時間	160 単位時間	
	ビジネス専攻学科	夜・通信	150 単位時間	80 単位時間	
教育･社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	1984 単位時間	160 単位時間	
	こども保育学科	夜・通信	1635 単位時間	160 単位時間	
	保育専攻学科	夜・通信	150 単位時間	80 単位時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ＨＰにて授業科目一覧を公開。 掲載 URL：https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校甲府校
設置者名	学校法人大原学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

学校法人大原学園ＨＰ 情報公開ページにて公開している。
掲載 URL：https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	司法書士事務所 所長	2019.4.1～ 2023.3.31	法人運営における法務的な検証、管理
非常勤	Web デザイン・システム開発・印刷関連企業　代表	2019.4.1～ 2023.3.31	学生募集、教材開発への助言
非常勤	前：不動産関連企業 代表	2019.4.1～ 2023.3.31	校舎等学習環境の整備への助言
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校甲府校
設置者名	学校法人大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

１．作成について
授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。
授業計画（シラバス）を作成する際に、「授業計画（シラバス）作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画（シラバス）を作成している。

２．公表について
学則に定める教育課程は、前々年度の理事会にて承認決定されている。これに基づく具体的な授業計画（シラバス）については、前年に担当教員が作成して学内承認後、当該年度４月にＨＰ上に公開している。

授業計画書の公表方法	学校法人大原学園ＨＰ 情報公開ページにて公開する。 掲載 URL：https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

学則において、出席、試験、成績、進級および卒業要件について規定し、当該規定を遵守して各学生の学修成果に対して厳格な評価を実施している。
なお、学生に対しては当該規定を学生便覧に記載して周知を図っている。

１．卒業について
各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

２．進級について
進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ、出席状況等学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。

３．学業成績について
　学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。
　なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者宛に通知する。

４．授業について
　全ての授業科目において、出席・欠席・遅刻・早退を記録する。各課程・学科の授業科目や授業時間、授業科目の単位数は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスで学生に説明する。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

　学業の達成度を客観的に評価するための指標としてGPA（Grade Point Average）を採用し、本校の成績評価に使用している。本校ではGPAを基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標としてGPAを活用している。この客観的な成績評価指標についてはHPで公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。

（試験等）
　学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験又は再試験等を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対して行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。
（学業成績）
　学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の５種をもってこれを表し、次のとおりとする。
（１）経理本科２年制学科・ビジネス専攻学科
　秀は９０点以上、優は８０点以上、良は６０点以上、可は５０点以上、不可は４９点以下とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
（２）介護福祉学科・こども保育学科・保育専攻学科
　秀は９０点以上、優は８０点以上、良は７０点以上、可は６０点以上、不可は５９点以下とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
　授業科目の成績は、前項の５種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりＧＰ（Grade-Point）を与える。

客観的な指標の算出方法の公表方法	学生に配布する「学生便覧」及び学校法人大原学園ＨＰ 情報公開ページにて公開する。 掲載URL： https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

（卒業の認定）
卒業の認定は、修業年限以上在学して、以下に定める授業時数以上を履修し、かつ以下に定める単位数以上を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。
（１）経理本科２年制学科は１，７００時間（６２単位）
（２）ビジネス専攻学科は８００時間（３０単位）
（３）介護福祉学科は２，０４４時間（６８単位）
（４）こども保育学科は１，７２５時間（７２単位）
（５）保育専攻学科は８００時間（３０単位）
各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

① 卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科（１年制コースを除く）を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。
② それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。
③ 卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスで説明する。

（介護福祉士、保育士養成施設の修了認定）
（１）介護福祉士
本校が規定する卒業基準を満たすとともに、介護福祉士養成施設の修了基準を満たすことで、介護福祉士国家試験の受験資格を得るものとする。
なお、介護福祉士試験合格後に財団法人社会福祉振興・試験センターへ介護福祉士として登録を行うことで、「介護福祉士」の名称を使用することが出来る。
（２）保育士
本校が規定する卒業基準を満たすとともに、保育士養成施設の修了基準を満たすことで、保育士として登録を行うための資格を得るものとする。
なお、卒業後に都道府県知事委託保育士登録機関登録事務処理センターへ保育士として登録を行うことで、「保育士」の名称を使用することが出来る。
（３）養成施設の修了認定基準
次に掲げる３項目に基づき、校長がこれを認定する。
① 履修時間の出席率が基準を満たしている者
授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の３分の２を満たす者
実習の出席時間数が履修時間数の５分の４を満たす者
② 授業科目ごとの学業成績で合格を修めた者
③ 実習先施設で実習要件を満たしたと評価された者

卒業の認定に関する方針の公表方法	学生に配布する「学生便覧」及び学校法人大原学園ＨＰ 情報公開ページにて公開する。 掲載 URL： https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校甲府校
設置者名	学校法人大原学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	経理本科２年制学科 コンピュータビジネスコース	○	－

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	1700 単位時間	2,160 単位時間	1,575 単位時間	990 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			4,725 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
200 人の内数	95 人	17 人	9 人の内数	0 人	9 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。

授業計画（シラバス）を作成する際に、「授業計画（シラバス）作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画（シラバス）を作成している。

成績評価の基準・方法

（概要）

学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験又は再試験等を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対して行う。再試験は試験等受験の結果、不合

格となった者に対して実施する。

学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の５種をもってこれを表し、秀は９０点以上、優は８０点以上、良は６０点以上、可は５０点以上、不可は４９点以下とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
授業科目の成績は、前項の５種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりＧＰ（Grade-Point）を与える。

卒業・進級の認定基準

（概要）
卒業の認定は、修業年限以上在学して、以下に定める授業時数以上を履修し、かつ以下に定める単位数以上を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。
経理本科２年制学科は１，７００時間（６２単位）

進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ、出席状況等学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。

学修支援等

（概要）
個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Ｅメール等で連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
26 人（100%）	0 人（0%）	26 人（100%）	0 人（0%）

（主な就職、業界等）
株式会社プリンスホテル、横河マニュファクチャリング株式会社、ミニストップ株式会社、日野自動車株式会社、株式会社セブンーイレブン・ジャパン、他

（就職指導内容）
学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。
適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。

（主な学修成果（資格・検定等））
日本商工会議所主催簿記検定試験２級、Microsoft Office Specialist 2013、実務技能検定協会主催サービス接遇検定２級、国内旅行業務取扱管理者試験、日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定試験３級、他

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80 人	1 人	1.3%

（中途退学の主な理由）
就職内定による中途退学

（中退防止・中退者支援のための取組）
学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。
また、クラス担当者以外にコースや学科の責任者及び就職・学習支援担当者による個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	経理本科２年制学科情報技術コース	○	-

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	1700 単位時間	1,320 単位時間	1,470 単位時間	1,440 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			4,230 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
200 人の内数	37 人	5 人	9 人の内数	0 人	9 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。
授業計画（シラバス）を作成する際に、「授業計画（シラバス）作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画（シラバス）を作成している。

成績評価の基準・方法

（概要）
学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験又は再試験等を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対して行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。

学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の５種をもってこれを表し、秀は９０点以上、優は８０点以上、良は６０点以上、可は５０点以上、不可は４９点以下とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
授業科目の成績は、前項の５種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりＧＰ（Grade-Point）を与える。

卒業・進級の認定基準

（概要）
卒業の認定は、修業年限以上在学して、以下に定める授業時数以上を履修し、かつ以下に定める単位数以上を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。
経理本科２年制学科は１，７００時間（６２単位）

進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ、出席状況等学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。
学修支援等
（概要） 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Ｅメール等で連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 （100%）	0 人 （0%）	9 人 （100%）	0 人 （0%）
（主な就職、業界等） 株式会社日本システムコンサルタント、東日本電信電話株式会社、株式会社ビジネスブレイン太田昭和、TIS ソリューションリンク株式会社、他			
（就職指導内容） 学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。 適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日本商工会議所主催簿記検定２級、経済産業省 IT パスポート試験、経済産業省基本情報技術者試験、経済産業省応用情報技術者試験、他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 また、クラス担当者以外にコースや学科の責任者及び就職・学習支援担当者による個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">商業実務</td><td>商業実務専門課程</td><td colspan="2">経理本科２年制学科
医療事務コース</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="6">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td colspan="2">実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">1700 単位時間</td><td>930
単位時間</td><td>810
単位時間</td><td>120
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td colspan="2">0
単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">1860 単位時間</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
200 人の内数	72 人	0 人	9 人の内数	0 人	9 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。なお、専門分野に関する企業､団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。

授業計画（シラバス）を作成する際に、「授業計画（シラバス）作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画（シラバス）を作成している。

成績評価の基準・方法

（概要）

学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験又は再試験等を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対して行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。

学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の５種をもってこれを表し、秀は９０点以上、優は８０点以上、良は６０点以上、可は５０点以上、不可は４９点以下とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。

授業科目の成績は、前項の５種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりＧＰ（Grade-Point）を与える。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業の認定は、修業年限以上在学して、以下に定める授業時数以上を履修し、かつ以下に定める単位数以上を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。

経理本科２年制学科は１，７００時間（６２単位）

進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ、出席状況等学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。

学修支援等

（概要）

個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Ｅメール等で連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
42 人 （100%）	0 人 （0%）	38 人 （90.5%）	4 人 （9.5%）

（主な就職、業界等）
恵信梨北リハビリテーション病院、山梨大学医学部付属病院、山梨赤十字病院、恵信甲府病院、山梨県立中央病院、山梨勤労者医療協会、塩山市民病院、山梨厚生病院、他

（就職指導内容）
学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。
適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。

（主な学修成果（資格・検定等））
診療報酬請求事務能力認定試験（医科）、初任者研修、Microsoft Office Specialist、医療請求事務能力認定試験、医療秘書実務能力認定試験、電卓技能検定試験、他

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
81 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。
また、クラス担当者以外にコースや学科の責任者及び就職・学習支援担当者による個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	経理本科 2 年制学科 税理士コース		○		-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	1700 単位時間	1,860 単位時間	1,290 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	
			3,150 単位時間					

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
200 人の内数	10 人	0 人	9 人の内数	0 人	9 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。 授業計画（シラバス）を作成する際に、「授業計画（シラバス）作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画（シラバス）を作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験又は再試験等を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対して行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の５種をもってこれを表し秀は９０点以上、優は８０点以上、良は６０点以上、可は５０点以上、不可は４９点以下とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。 授業科目の成績は、前項の５種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりＧＰ（Grade-Point）を与える。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定は、修業年限以上在学して、以下に定める授業時数以上を履修し、かつ以下に定める単位数以上を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。 経理本科２年制学科は１，７００時間（６２単位） 進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ、出席状況等学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。
学修支援等
（概要） 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Ｅメール等で連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
２人 （100%）	０人 （0%）	２人 （100%）	０人 （0%）

（主な就職、業界等）
中山・久保嶋会計、砂田会計事務所

（就職指導内容）
学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。
適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。

（主な学修成果（資格・検定等）） 日本商工会議所主催簿記検定１級、全国経理教育協会主催簿記検定上級、税理士試験（簿記論）、税理士試験（財務諸表論）、他
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
５人	１人	20.0%
（中途退学の主な理由） 持病悪化による進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 また、クラス担当者以外にコースや学科の責任者及び就職・学習支援担当者による個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		商業実務専門課程	ビジネス専攻学科		－		－
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
１年	昼間	800 単位時間	990 単位時間	360 単位時間	210 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,560 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
10 人	0 人	0 人	0 人	3 人	3 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。 授業計画（シラバス）を作成する際に、「授業計画（シラバス）作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画（シラバス）を作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた

場合に限り、追試験又は再試験等を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対して行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。

学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の５種をもってこれを表し、秀は９０点以上、優は８０点以上、良は６０点以上、可は５０点以上、不可は４９点以下とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
授業科目の成績は、前項の５種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりＧＰ（Grade-Point）を与える。

卒業・進級の認定基準

（概要）
卒業の認定は、修業年限以上在学して、以下に定める授業時数以上を履修し、かつ以下に定める単位数以上を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。
ビジネス専攻学科は８００時間（３０単位）

学修支援等

（概要）
個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Ｅメール等で連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
０人（－％）	０人（－％）	０人（－％）	０人（－％）

（主な就職、業界等）

（就職指導内容）
学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。
適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。

（主な学修成果（資格・検定等））

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
０人	０人	－％

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。
また、クラス担当者以外にコースや学科の責任者及び就職・学習支援担当者による個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
教育・社会福祉	教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	○	－

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2044単位時間	1130単位時間	878単位時間	456単位時間	0単位時間	0単位時間
			2464単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人	26人	3人	3人	2人	5人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。
授業計画（シラバス）を作成する際に、「授業計画（シラバス）作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画（シラバス）を作成している。

成績評価の基準・方法

（概要）
学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験又は再試験等を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対して行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。

学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の５種をもってこれを表し、秀は９０点以上、優は８０点以上、良は７０点以上、可は６０点以上、不可は５９点以下とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
授業科目の成績は、前項の５種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりＧＰ（Grade-Point）を与える。

卒業・進級の認定基準

（概要）
卒業の認定は、修業年限以上在学して、以下に定める授業時数以上を履修し、かつ以下に定める単位数以上を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。
介護福祉学科は２，０４４時間（６８単位）

本校が規定する卒業基準を満たすとともに、介護福祉士養成施設の修了基準を満たすことで、介護福祉士国家試験の受験資格を得るものとする。
なお、介護福祉士試験合格後に財団法人社会福祉振興・試験センターへ介護福祉士として登録を行うことで、「介護福祉士」の名称を使用することが出来る。

※養成施設の修了認定基準
次に掲げる３項目に基づき、校長がこれを認定する。
① 履修時間の出席率が基準を満たしている者
授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の３分の２を満たす者
実習の出席時間数が履修時間数の５分の４を満たす者
② 授業科目ごとの学業成績で合格を修めた者
③ 実習先施設で実習要件を満たしたと評価された者

進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ、出席状況等学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。

学修支援等

（概要）
個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Ｅメール等で連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
７人 （100%）	０人 （0%）	７人 （100%）	０人 （0%）

（主な就職、業界等）
社会福祉法人信和会、社会福祉法人日新会、介護老人保健施設玉穂ケアセンター、社会福祉法人寿ノ家、社会福祉法人さくら会、社会福祉法人恵信会、他

（就職指導内容）
学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。
適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。

（主な学修成果（資格・検定等））
介護福祉士国家試験、レクリエーションインストラクター

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	０人	0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。
また、クラス担当者以外にコースや学科の責任者及び就職・学習支援担当者による個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
教育・社会福祉	教育・社会福祉専門課程	こども保育学科	○	-

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			750 単位時間	1470 単位時間	240 単位時間	0 単位時間	30 単位時間
2年	昼間	1725 単位時間	2,490 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	55 人	0 人	3 人	2 人	5 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。
授業計画（シラバス）を作成する際に、「授業計画（シラバス）作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画（シラバス）を作成している。

成績評価の基準・方法

（概要）
学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験又は再試験等を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対して行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。

学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の５種をもってこれを表し、秀は９０点以上、優は８０点以上、良は７０点以上、可は６０点以上、不可は５９点以下とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
授業科目の成績は、前項の５種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりＧＰ（Grade-Point）を与える。

卒業・進級の認定基準

（概要）
卒業の認定は、修業年限以上在学して、以下に定める授業時数以上を履修し、かつ以下に定める単位数以上を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。
こども保育学科は１，７２５時間（７２単位）

本校が規定する卒業基準を満たすとともに、保育士養成施設の修了基準を満たすことで、保育士として登録を行うための資格を得るものとする。
なお、卒業後に都道府県知事委託保育士登録機関登録事務処理センターへ保育士として登録を行うことで、「保育士」の名称を使用することが出来る。

※養成施設の修了認定基準
次に掲げる３項目に基づき、校長がこれを認定する。
① 履修時間の出席率が基準を満たしている者
授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の３分の２を満たす者
実習の出席時間数が履修時間数の５分の４を満たす者
② 授業科目ごとの学業成績で合格を修めた者
③ 実習先施設で実習要件を満たしたと評価された者

進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ、出席状況等学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。

学修支援等

（概要）
個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Ｅメール等で連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
16 人（100%）	0 人（0%）	16 人（100%）	0 人（0%）

（主な就職、業界等）
社会福祉法人国母福祉会 国母保育園、社会福祉法人秀愛福祉会 認定こども園 こでまり保育園、社会福祉法人伸芽福祉会 伸芽保育園、社会福祉法人大鎌田保育園、他

（就職指導内容）
学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。
適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。

（主な学修成果（資格・検定等））
保育士、おもちゃインストラクター、レクリエーションインストラクター等

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41 人	2 人	4.9%

（中途退学の主な理由）
進路変更、体調不良

（中退防止・中退者支援のための取組）
学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。
また、クラス担当者以外にコースや学科の責任者及び就職・学習支援担当者による個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
教育・社会福祉	教育・社会福祉専門課程	保育専攻学科	-	-

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	800単位時間	300単位時間	690単位時間	120単位時間	0単位時間	0単位時間
			1,110単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
10人	1人	0人	0人	3人	3人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。
授業計画（シラバス）を作成する際に、「授業計画（シラバス）作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画（シラバス）を作成している。

成績評価の基準・方法

（概要）
学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験又は再試験等を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対して行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。

学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の５種をもってこれを表し、秀は９０点以上、優は８０点以上、良は７０点以上、可は６０点以上、不可は５９点以下とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
授業科目の成績は、前項の５種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりＧＰ（Grade-Point）を与える。

卒業・進級の認定基準

（概要）
卒業の認定は、修業年限以上在学して、以下に定める授業時数以上を履修し、かつ以下に定める単位数以上を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。
保育専攻学科は８００時間（３０単位）

学修支援等
（概要） 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Ｅメール等で連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3 人 （100%）	0 人 （0%）	2 人 （66.6%）	1 人 （33.3%）
（主な就職、業界等） 学校法人 相生幼稚園、株式会社ポピンズ			
（就職指導内容） 学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。 適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 幼稚園教諭			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 また、クラス担当者以外にコースや学科の責任者及び就職・学習支援担当者による個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
経理本科２年制学科	200,000 円	600,000 円	220,000 円 ～340,000 円	（経理本科２年生学科のその他） コンピュータビジネス系、情報技術系を選択した場合は、340,000 円（年額）とする。 医療事務系を選択した場合は、240,000 円（年額）とする。 税理士系を選択した場合は、220,000 円（年額）とする。
ビジネス専攻学科	200,000 円	600,000 円	220,000 円	
介護福祉学科	200,000 円	600,000 円	380,000 円	
こども保育学科	200,000 円	600,000 円	260,000 円	
保育専攻学科	200,000 円	600,000 円	260,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
・学校経営の改革方針や自己評価等の質を高め、次への改善に繋げる ・学校運営や教育活動への学校関係者の協力や参画を得て、地域に開かれた信頼された学校作りを進める ・校長は学校関係者評価の結果をもとに適切な支援や条件整備等の改善措置を講ずる		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社　ネオシステム 業務管理本部　人事総務部　部長	2020.4.1～2022.3.31	企業等委員
医療法人　恵信会 法人本部　人事部　部長	2020.4.1～2022.3.31	企業等委員
ＴＫＣ西東京山梨会 井上卓己税理士事務所　所長	2020.4.1～2022.3.31	企業等委員
山梨県社会福祉事業団 もえぎ寮　寮長	2020.4.1～2022.3.31	企業等委員
社会福祉法人　国母福祉会 国母保育園　園長	2019.4.1～2021.3.31	企業等委員
住吉寿夫 司法書士・行政書士事務所　所長	2019.4.1～2021.3.31	企業等委員
富水自治会長	2020.4.1～2022.3.31	近隣住民
ベルクラシック甲府 マーケティング部　チーフ	2020.4.1～2022.3.31	企業等委員 近隣住民

社会福祉法人　共立福祉会 つくし保育園	2020.4.1～2022.3.31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/